



あしべつ

市議会だより

2017年
2月1日
No. 2

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>



平成29年芦別市成人式が、市青年センターで行われました。
今年の市内の新成人は、男女合わせて129人。このうち98人が出席しました。

主な内容

- ◎特集 (株)芦別振興公社問題のその後……23
- ◎12月定例会一般質問……36
- ◎11月臨時会・12月定例会・1月臨時会の議決結果……7
- ◎議会報告会の結果……8

以上を申し上げ副議長就任にあたってのご挨拶といたします。

新年度の行政執行方針と新年度予算が提案される3月議会において、議会として慎重審議の上、議決を下してまいることをはじめ、芦別市政が直面している振興公社経営問題など山積する重要課題の解決とともに市民の皆様にかかれた市議会運営にあたり、微力ではありますが日沼議長を補佐してまいります。

滝勝美前副議長の志、思いをしつかり受け止めて、任期の残任期間の4月末まで務めてまいります(議会の正副議長人事は、芦別市では2年交代が申し合わせ)。

志半ばに議員を辞職しなければならなくなった滝勝美前副議長の思いは、さぞかし無念、残念だったことと推察いたします。



市議会副議長就任のご挨拶
松井 邦男

昨年11月28日の臨時市議会におきまして、各会派のご理解により副議長に選任をいただき、副議長の重責を担うことになりました。

このたび異例の副議長選任は、滝勝美前副議長が体調を崩されて議員を辞職されたことに伴うものです。

株別振興公社経営問題のその後

新たな指定管理者公募へ

市長提案により公社以外の新たな指定管理者の選定を求める提案に対し、議会もこれを了承し、募集期間10月31日までとして、新しい指定管理者の公募手続きが開始されました。

新指定管理者の決定

11月25日の会派代表者会議において、公募には3社(道外1社・道内2社)から応募があり、選考委員会による選考の結果、富良野市内でホテル経営する「北海道ホテル&リゾート株」を選定した旨報告がなされました。市は早急に細部の協議を進めスムーズな事業の移行を進めたいとして、同月28日に臨時議会を招集し、新しい指定管理者を決定(議決)しました。『選定理由は、①今後の事業展開に対する構想が具体的であり、現状分析が緻密である。②富良野との連携、広域的観光ルートづくりや観光振興に対する構想があり本市の取り組みと合致する。③地元食材の活用、チップボイラーの使用、合宿の受入れ、現公社従業員の雇用受け入れに積極的な考えを持っていること等が評価されました。』

9月市議会以降の経過

公社経営問題特別委員会を断続的に開催し本件問題の論議を進めてきまし

たが、9月議会の結果を受けて、9月30日の会派代表者会議において市長から、経営責任を明確化するために、公社三柳社長の辞任の決定等のための臨時株主総会の招集を明言され、累積する貸付金総額2億2千万円の償還方法についての協議と合わせ、臨時会の招集を求められました。しかし、これまでの合意事項の履行に対し、10月17日の特別委員会では、その後の社内手続きが整わないとの理由で問題を先送りするなど議会との約束が守られなかったことから「市長の言動には信頼がかけない」との議会側の不信感を大きくする結果となりました。議会が求めてきた体制整備の明確化に対し、10月25日に公社の臨時株主総会と取締役会が開催され、三柳社長、湯浅専務の辞任及び今野市長の社長就任が決定された旨の報告がなされました。

11月17日の特別委員会での論議では、経営陣交代に伴う動揺から従業員への退職、特に調理人の退職が続発し、年末に向けた営業に大きな影響が出る事態にあるとして、今野市長からは、「資金繰りもままならず、年末の従業員給与、市内業者等への支払いも事欠く状況になる」として、12月議会で経営資金の対応を求める発言がなされ、

同時に「議会冒頭の行政報告で責任を明確にする」との発言があったところでありました。

新たな貸付要望示される

12月2日に開催された特別委員会では、年度末までの資金繰りに関して、8千万円の資金不足が生じるとし、12月中においても一定額がないと資金ショートするとして、短期資金の貸付が求められました。8日からの定例議会では一般質問に8議員が質問に立ち、全員が公社経営問題に触れ、「返済のあてのない貸付金の貸付要望」、「その返済方法」等の求めに対し、今野市長は一貫して、「温泉事業を除く振興公社の存続と雇用の継続により、貸付金の返済を実行していく」との方針を崩さず、返済の具体策は今後改めて提案するとの答弁に終始しました。

12月中の資金不足分は、市からの木質チップ燃料費の単価差負担分として2716万円の収入により賄えることから、16日の議会最終日に提案された新たな貸し付け8千万円の補正予算案は再び、「予算修正動議」を全会一致で可決し、貸し付けを認めませんでした。

本会議での質疑では、新会社に移行する3月末までに必要な資金を精査した上で、明確な償還方法を示し再提案するよう求めたところでありました。

年明け1月5日に開催された特別委

員会に、改めて年度内の経営安定資金としての貸付要望額と償還計画について説明がありました。新たな貸付要望額は、12月時点で示された8千万円から1億3千万円へと大幅増となった旨説明がありました。増額理由は、①調理師の確保が計画通り進まず、レストランの休業、宴会・宿泊予約の制限等が続いているため売り上げを5百万円下方修正したこと②従業員の退職金4千5百万円(全員分)の計5千万円を追加したものであります。この貸し付けは、当面3月23日までの短期資金とするものであります。

累積貸付金額と償還方法

①累積する貸付金の総額は、今回の1億3千万円を合わせ、3億5千万円となりますが、バス購入費執行残(約123万円)、公社所有の備品等(新指定管理者に貸付けるため市が買う)の買取価格(約3千3百万円)分を差引いた最終の貸付金総額は、3億1712万2544円となる予定であります。②貸付条件は、長期貸付金に変更する。③償還方法は、毎年元金分529万円ずつ60年間の年払いとし、無利子とする。④償還財源は、民間企業に経営委託される温泉事業以外の事業(道の駅事業・旭ヶ丘公園他管理運営事業他)を経営管理を継続していくが、株別振興公社の経常利益とする。以上の内容については、3月定例市議

会において議論、決定されることとなります。

今野市長辞任を表明

1月12日（1日日程）に臨時市議会が開催されました。提案案件は、平成28年度中の振興公社経営資金不足等に対する貸付金1億3千万円を含む補正予算案であり、これを全会一致で可決・成立しました。

全ての会派から、今回の貸付には同意するが長期貸付の在り方、60年間とする償還方法等にもろ手を挙げて賛成はできないとする意見が多く出されました。補正予算成立後、今野市長から議長に対し20日付けでの市長辞職願の提出があり、全会一致でこれに同意しました。また、今回の新たな貸付金を認めたことに対する「責任の一端を取る」ため、議員提案による2月分の議員報酬30%を減額する条例案と、副市長の2月分給与30%を減額する条例案の提案があり、可決・成立されました。最後に挨拶に立った今野市長から、「公社経営の健全化が果たせず、多額の市費貸付となったこと等により市政の混乱を招いた責任の多くは私にあると認識している」と、辞職を決意した理由が述べられました。これまでの一連の「振興公社経営問題」において、現職市長の辞任という大きな決断が示されました。市長が変われば問題が解決するわけではありませんし、公社問

題はまだまだ課題山積であります。振興公社の在り方、累積貸付金の償還手法の在り方等について方向性を定めなければなりません。更には、沢山の課題を抱える本市の課題解決のため、歩

12月定例会一般質問



新星クラブ
大橋 二郎 議員

管理不全空き家を生み出さない取り組みについて

質問

社会問題になってきている管理不全空き家だが、安全面での危機管理対策だけではなく、空き家をつくらないことに主眼を置いた取り組みはできないか？

空き家ができる原因は多様だが、高齢者が差別を離れることによるものが多くを占める。その原因をつくり出さない取り組みを考えると、人口減少問題・高齢化社会問題・地域コミュニティ再生等さまざまな要因が見えてくる。解決するには多くの視点を持つべきで、それには複数部署の若手職員で「ワーキンググループ（専門作業部会）」を立ち上げ、

みを進めなければなりません。今野市長の決断を無にすることなく、一日も早い市政の回復に議会も、全力投球してまいります。

多様な意見を基に実のある政策をつくり取り組むべきではないか。

答弁

指摘の通り危機管理対策上の対応のみならず、

まちづくりの視点をもつことで、未然防止策や空き家を利用する取り組みが考えられる。それには行政だけでなく、市民や関係者の連携・協力が不可欠。既存の取り組みだけでなく、空き家情報収集には町内会・郵便局・燃料販売店・電気事業者などから早期に把握する仕組みを構築し、空き家の見守りや管理については、一部を地域コミュニティ事業として町内会などが担うことも考えられる。このような空き家対策を促進するためには、解決策を多角的多面的に検討する必要がある。それには提言のあった、各課の若手・中堅職員で構成する「ワーキンググループ」で取り組むことが有効と考えられ、職員の人材育成・能力向上の観点からも有益な手法であ

り、設置のあり方や活動内容を早急に整理し、喫緊の課題である空き家問題をはじめ、本市が抱えるさまざまな行政課題の解決に向け「ワーキンググループ」による仕組みを取り入れ、対応していきたい。



政風会
大鎌 光純 議員

芦別振興公社について

質問

市内に多く出回った文書の内容について伺う。

答弁

聞き取りをした内容の文書が手書きのものであったため、これを清書したものであります。また、この文書を受け取った際、内容に間違いがないかを確認したものでありますが、その後の調査によって、横領、着服などの不法行為はなかったと判明しているものの、まったくでたらめのものとは考えておりません。

質問

議会側から提出された予算が全会一致で可決されたという議会の重い判断をどのように受け止

12月定例会において通告のあった質問項目の中から1件または数件を要約して掲載しています。会議録は、図書館、コミュニティセンターで閲覧できるほか、市議会ホームページに掲載しています。

（4ページへ続く）

めているのか伺う。

答弁

会社の経営継続に必要な借り換えではあるものの、返済の可能性の低い貸付金の提案をしたことにより、議会としても苦渋の判断をされたものと真摯に受け止めており、深く反省をしております。

質問

市長が考えていた経営体制の大胆な見直しとはどのようなものであったのか。

答弁

経営陣を刷新し、社長には経営改善と経費節減による経営健全化を進めてもらい、専務には社員を取りまとめ、仕事への意欲の向上を図り、社員一丸となつて経営改善につなげる体制をつくることにより、それまでの経営体制の見直しを図ろうとしたものであります。

質問

貸付金の返済方法について伺う。

答弁

来年4月以降に残る4会計の中で返済していくことができないかを考えているところではあります。物産会計において売り上げの増に向けた取り組みを行う一方、全会計において経費節減を図ったとしても、短期間で返済することは非常に難しいと判断しております。

このため、貸付金を長期資金に切り換えるなどの返済方法を、今後議会に対して提案してまいりたいと考えております。



会 風 政
真 北村 議員

芦別振興公社の経営に

対する責任について

質問

8千万円の貸し付けについては、質問して納得したうえで議決権を行使することであると考えますが、具体的な返済方法を示されない中で、市長は「提案したのだからあとは賛成するのも賛成しないのも議員の責任だ」と言われますが、市長は返済方法をどのように考えておられるのか。

答弁

残る4会計での返済ができるかということを検討しているところですが、残る事業の中で唯一収益事業を行う物産会計の中で、経費節減やサービス向上による収益の増加などで返済を考えているのでご理解いただきたい。

質問

返済ができるかどうかをこれから検討していく

ということか。

答弁

返済していくことができないのかを検討していく。短期間で返すことが難しくなるので長期での返済を今後議会に対して提案してまいりたいと考えております。

質問

これから貸付金の長期での返済を提案されるのであれば、今回の議会において8千万円の提案を認める事ができないという事はご理解いただけるのでしょうか。我々は返済の目的がたっていないものを認めることはできないので、今回の議会ですっかりと説明することが市長の立場上当然負わなくてはいけない責任であるのではないのでしょうか。今一度長期返済について具体的に説明していただきたい。

答弁

償還計画を具体的に決めておりませんが、総額3億円になる。基本的には、残る4会計での返済を考えておりますが、短期での返済は難しいので、今後3月に迎える返済期限の時期に改めて具体的に長期の返済期限を含めて示していきたいと考えております。

質問

それを今回の議会で示すべきである。当然、貸付金を長期で返済していくのであれば

ば月々の返済額や利息を示されるべきではないか。

答弁

前例として空知川ゴルフ公社への1億2千万円を年100万円ずつ返済している。利息は無利子になっているのでそれを参考に、今後検討していきたい。



市民連合議員団
小川 政憲 議員

芦別振興公社経営安定資金

質問

今回も9月同様に貸し付けを求めた意図について伺う。

答弁

9月市議会における議会の判断については重く受け止めておりますが、公社の経営状況は今年度も大きな改善が見込めず、収支均衡とはならない見通しである。しかし、この貸付金を認めていただかないと、従業員の給与や地元取引企業等に対する支払も滞り、従業員の生活及び市内経済に与える影響は大きいことから、この影響を最小限に抑えるために何としても必要であると判断した。

質問

温泉会計事業以外の事業を継続していく振興公社が累積する貸付金の償還を行う真意は何か。

答弁

4月以降に残る温泉会計以外の4会計の中で貸付金の返済をしていくことができないかを考えているが、物産会計(道の駅部門)において売り上げの増に向けた取り組みを行う一方、全会計で経費節減を図ったとしても、短期間で返済することは非常に難しいと判断しております。このため、累積する貸付金を長期資金に切り替えるなどの返済方法を今後議会に提案していきたい。

質問

4月以降の芦別振興公社の経営のあり方について伺う(公共として行うべき事業とは)。

答弁

4月以降も継続する事業を着実に実施していくことが重要であると考えており、現在の公社従業員をできるだけ多く雇用していく観点からも、現段階では現在公社が行う委託事業を市内企業に開放する考えはありません。しかし、今後の課題として、公社のあり方を含めて検討していきたいと考えています。事業規模、雇用規模については、現在試算中であり、今示す

ことはできません。



日本共産党
松井 邦男 議員

国民保養地指定の芦別温泉のあり方及び市民の積極的利用促進の施策を

質問

芦別温泉への市及び公社の対応は、他のマチでの温泉利用に比して環境庁指定の保養・保健温泉地にふさわしいものといえない。市民本位の保養・保健温泉地としての積極的戦略と施策について伺う(環境省は温泉地を健康増進と自然環境を生かした地域活性化策として支援しています)。

答弁

市民の憩いの場とともに観光客や合宿の誘致に努めてきたが、環境庁指定にふさわしい市民の利用促進といえなかった。4月から温泉運営にあたる会社と協議し、市民の健康づくり、保養・保健に役立つ市民の憩いの場としてより多くの市民の利用に努める。

質問

国は2018年から都道府県に市町村の国保財

国民健康保険の都道府県単位化に伴う芦別市の課題について

政運営を移行し医療提供と費用負担に責任を持たせ、道は医療費水準や所得水準などを踏まえた「国保納付金」を市町村に請求。市町村は道に100%納入が求められるため高すぎる国保税の収納率引き上げが迫られ、強権的な徴収や差し押さえが懸念される。芦別の一人当たり療養費は道内でも多額。特定健診受診率も全道最低のもとで、芦別への納付金などに厳しい影響はないか。

答弁

2月に2回目の納付金の試算が示される予定。その段階で課題や問題点が。国に対して市町村の負担増とならないよう国保財政の拡充強化を求めていく。税滞納者に対して国保税徴収法違反が疑われることがないように努めており、現在滞納整理に必要なマニュアルを作成中である。

質問

北海道教育委員会は、就学援助利用の家庭に無料または低額で医療を受けられる医療機関の周知や新入学学用品費の入学前支給を市町村に通知しているが、芦別市の対応について伺う。

答弁

経済的理由で医療を受けることが困難な方々に対する社会福祉法の「医療費の無料

低額診察事業」は、就学援助利用世帯も活用できる制度であり書類配布の際、情報提供したい。「新入学学用品費」の支給時期は、4月支給希望の方には申請書類の提出時期を早められるよう対応したい。



公明党
吉田 博子 議員

芦別振興公社の物産会計のあり方について

質問

温泉会計を新たな指定管理者へ委ねることになったが、収益的事業である物産会計も人員配置の流動性等の効果を考慮するとセットで委ねるべきでは。

答弁

芦別振興公社が担う事業として、事業会計、陶芸会計、加工室会計の3会計とともに着実に事業を進める。物産会計は人的配置も含め体制を見直し、社員一丸となってサービフ向上に努め、売店の免税店の活用を旅行代理店等にPRするほか、新しい指定管理者とも連携し、利用者を増やし、売り上げ増加を図るための取り組みを進める。

(6ページへ続く)

駅前歓迎塔の撤去と今後の声別駅前広場の再整備について

質問

五重塔を模した駅前歓迎塔の撤去と、市民にとって利便性の高いエリアとしてJR駅前広場の再整備のあり方について伺う。

答弁

駅前歓迎塔は撤去します。駅前広場の再整備について、本市の中心市街地は、市外路線バスと市内路線のキラキラバス、JR、タクシートの発着場所が異



創政会 池田 勝利 議員

市長の就任以来の市政運営について

質問

青森市の市長は第三セクターが23億円に上る赤字に陥り、2億円の支援金を議会に提案し事実上否決され、辞職に至っている。その赤字額は青森市の人口一人当たり7900円であるが、これに対し、芦別振興公社への貸付金を仮に3億5千万円とすると、市民一人当たり2万5千円となる。今野市長は、その重みをどのように考え

なるため乗継環境が悪く、冬期間における待合環境が悪く、人口減少により駅前商店街が衰退しており、今後早期に対応を図る必要がある。庁内に検討チームを立ち上げ、頂いた提案を充分参考としながら、関係機関と協議し、バス発着所設置、駅舎修繕による待合所、観光案内機能整備など、具体的な施設等の整備計画を作成し、駅前地区のにぎわい創出していくためのソフト事業も、多くの意見を聞き検討していく。

質問

8千万円の貸し付け提案に対して、市長自身の責任について、市長はどのような「ケジメ」をつけようと考えているのか。

答弁

8千万円の貸付金の提案に対して責任を取って「ケジメ」をつけることについてありますが、このような混乱を招いた責任の多くは私にあるものと認識しており、市長として真摯に反省することも、責任ある身の処し方について熟慮、検討し、後日結論をお出ししたいと考えております。

答弁

この振興公社の経営責任は市長である私にあり、その責任の重さは痛感している。そしてその責任の取り方は、熟慮に熟慮を重ねて考えたい。

質問

9500万円の借入金償還期日を市長自身が守らなかった。それは、市民の皆様から税や手数料を徴収する側のトップとして、納付期日を守らないことに対する市民への説明はどうされるのか伺う。

答弁

この償還期日を守らなかったことの責任の全ては市長である私にあり、深く反省を



創政会 田森 良隆 議員

芦別振興公社について

質問

振興公社への貸付金が3億円の大打に乘るなかで、まちづくり懇談会における市民の反応、意見について伺う。

答弁

11月21日から29日まで、7回にわたり開催した、まちづくり懇談会は、参加者は

合計で240名にも上り、非常に関心が高く、特に振興公社問題に関しては、各会場とも市民の皆様からの数多くのご質問、ご意見をいただきました。

主な意見は、これまでの対応に関して「市民への説明が遅すぎた」「元社長による経営の問題を第三者委員会で調査すべきであった」「前社長が辞任するのはおかしい」「新たな指定管理者とする方針が決まった後に、従業員へもっと丁寧な説明をすべきであった」などでした。

今後の対応に関しては、これまでの貸付金や今議会に提出している貸付金の取り扱いの考え方、新たな指定管理者と市との関わり方、従業員の再雇用についての考え方、公約であった振興公社の健全化を果たせなかった責任についての質問がありました。また、「社長として従業員の不安を解消して安心を与えてほしい」「将来への負担を残さないため、税金を使って貸付金を返済する決断をしてほしい」などといったご意見があった一方、「市長が社長を兼務し、経営の指揮を執るのは無理である」「今後も赤字が続くと市の財政が厳しくなり、市民サービスマスの影響が心配である」などのご意見もいただきました。

臨時会、定例会の議決結果

【平成28年11月臨時会】(11月28日)

■全員賛成の議案

事 件	件 名	結 果	事 件	件 名	結 果
補正予算	平成28年度芦別市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	そ の 他	法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めることの専決処分	報 告 済
人事関係	議会運営委員の選任	選 任			

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

事 件	件 名	結 果	大橋	瀧	石川	大鎌	北村	小川	日沼	松井	吉田	池田	田森
			二朗	仁美	洋一	光純	真	政憲	昇光	邦男	博子	勝利	良隆
条例改正	芦別市職員給与条例及び芦別市特別職の職員の給与に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○
そ の 他	公の施設の指定管理者の指定の一部変更(健民センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○

【平成28年12月定例会】(12月8日～16日)

■全員賛成の議案

事 件	件 名	結 果	事 件	件 名	結 果
条例制定	芦別市木質バイオマスエネルギー利用促進助成条例	原案可決	人事関係	人権擁護委員候補者の推薦	可と答申
条例改正	芦別市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例等	原案可決	そ の 他	公の施設の指定管理者の指定の一部変更(コミュニティセンター)	原案可決
	芦別市コミュニティセンター条例	原案可決		公の施設の指定管理者の指定の一部変更(青少年会館)	原案可決
	芦別市がん検診等実施条例	原案可決	意 見 書	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	原案可決
芦別市合併浄化槽設置補助金交付条例	原案可決	J R北海道の「事業見直し」の撤回と国の財政支援を求める意見書		原案可決	
補正予算	平成28年度芦別市一般会計補正予算(第11号)	※修正可決		新たな国民健康保険制度の円滑な実施を求める意見書	原案可決
	平成28年度芦別市一般会計補正予算(第12号)	原案可決		安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書	原案可決
	平成28年度奨学資金特別会計補正予算(第3号)	原案可決	地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書	原案可決	
	平成28年度芦別市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決			

※修正可決は、(株)芦別振興公社に対する経営安定資金貸付金8,000万円を削除する修正案を全員賛成で可決

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

事 件	件 名	結 果	大橋	瀧	石川	大鎌	北村	小川	日沼	松井	吉田	池田	田森
			二朗	仁美	洋一	光純	真	政憲	昇光	邦男	博子	勝利	良隆
条例制定	芦別市農業委員会委員定数条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○
	芦別市介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○	○

【平成29年1月臨時会】(1月12日)

■全員賛成の議案

事 件	件 名	結 果	事 件	件 名	結 果
補正予算	平成28年度芦別市一般会計補正予算(第13号)	原案可決	条例制定	芦別市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定	原案可決
そ の 他	市長の退職の期日に関する同意	同 意		芦別市特別職の職員の給与に関する条例の特例に関する条例の制定	原案可決



振興公社経営問題をテーマに議会報告会を開催

平成28年11月19日、議会

改革の一環となる2回目の議会報告会を福祉センターで開催しました。今回は、(株)芦別振興公社の経営問題にテーマを絞って行いましたが、120人を超す市民の皆さんが出席。この問題についての関心の高さがうかがえました。

当日は、平成27年5月以降これまでの振興公社をめぐる経過を報告。さらに、経営状況を説明した後、公社問題に対する各会派の考え方について、次のようにそれぞれ説明を行いました。

◇新星クラブ 公社の問題解明と経営の再建を求めて、選挙戦を今野市長とともに戦い市長与党として市長にその都度、最善の策を具申してきたが、真逆の展開となり自分たちのふがいなさを痛感し申し訳ないと思

っている。

◇創政会 芦別振興公社は2億2千万円の累積貸し付けがあり、平成29年3月までに、おそらく3億円を超えるのではないかと。芦別市の人口1万4千人、一人当たり換算すると借金は2万円を超える。振興公社を本当に残さなければならぬのか真剣に考えなければならぬ。

◇政風会 振興公社の経営悪化により、温泉会計部分の指定管理者の変更を行いました。そのことで公社の経営はスリム化されると思います。今後も公社が行うことになっている道の駅の運営や市からの委託業務についても市内業者が代わりに行うべきだ、更なるスリム化を進めていくことが必要である。

◇市民連合議員団 清澤市政における川本社長との2年間の経営によって、取り返しのつかない赤字体質とな

ったと分析する。経営改善は指定管理を民間企業に替えるべきだと訴えてきた。

◇日本共産党 従業員の雇用を守る、市内業者への支払い、市民財産であり、つぶせないとして返すあてがないのに2億円を超える貸し付けをしてきた。民間に委託をして経営の建て直しをしたいというが、奈井江や月形では指定管理者で破綻しており反対。温泉と合宿をメインとした事業に転換すべき。

◇公明党 各会派の考え方は心を同じくするもの。これ以上の税金投入は市民に納得してもらえない。最後まで慎重に論議していきたい。

この後、参加者の皆さんと意見交換を行い、多くの貴重なご意見を頂きました。(石川洋二)

編集後記

公社問題の記事にも詳しく記載されておりませんが、1月12日に行われた臨時会において市長からの退職の申出書が受理され、1月20日に辞職されました。

今回の公社問題の結末には賛否が分かれますが、私としては、我々議員は誰一人としていたずらに市政を停滞させようとして、議会議論を重ねている人はいないと信じております。ぜひとも一度議会、特に各議員の一般質問や代表質問を傍聴していただきたいと思います。もし、それがかなわないのであれば、今回の議会だよりに目を通していただきたいと思います。

一つの問題を解決するためにはさまざまな観点で議論を重ねる必要があります。平成28年12月の定例会において公社問題に関する質問が多くありました。それぞれの議員が各々の立場で公社問題を解決するために質問されました。今回の議会だよりではその一端を感じていただける内容になっていると確信しておりますので、我々議員の想いを感じていただきたいと思います。(北村)

芦別市議会広報広聴委員会

委員長 小川政憲

副委員長 石川洋一

委員 池田勝利、大橋一朗、北村真、松井邦男、吉田博子

議会の動き

平成28年11月～1月中旬

【11月】

- 15日 総務常任委員会
- 16日 総務常任委員会
- 17日 社会産業常任委員会
(株)芦別振興公社経営問題調査特別委員会
- 18日 社会産業常任委員会
- 19日 議会報告会
- 25日 議会運営委員会
- 28日 第9回市議会(臨時会)
- 29日 社会産業常任委員会

【12月】

- 1日 議会運営委員会
- 2日 (株)芦別振興公社経営問題調査特別委員会
- 8日～16日 第10回市議会(定例会)
- 13日 議会運営委員会
- 14日 総務常任委員会
広報広聴委員会
- 15日 社会産業常任委員会
議会運営委員会
- 16日 議会運営委員会

【1月】

- 5日 (株)芦別振興公社経営問題調査特別委員会
議会運営委員会
- 12日 第1回市議会(臨時会)
総務常任委員会
- 13日 社会産業常任委員会
広報広聴委員会

芦別市長選挙及び芦別市議会議員補欠選挙の日程について

市長の退職に伴い、市長選挙が行われます。また、市長選挙の実施により、欠員となっていた市議会議員の便乗補欠選挙も行われます。

○立候補予定者説明会 2月1日(水)午後1時30分～(場所・市役所3階第1会議室)

○告示日 2月19日(日)

○投開票日 2月26日(日)